



子どもたちの
笑顔を支える
地域の情熱

たじみの 子ども食堂

コロナ禍においても、食事を通じた支え合いを
このまちに広げている頼もしい人たちがいます。

誰かとちょっとお喋りしたいとき。

食事の支度が大変で、頼りたいとき。

地域のために、何か協力したいとき。

どの子ども食堂もおいしい食事を用意して、

皆さんの訪れを温かく待っています。

information

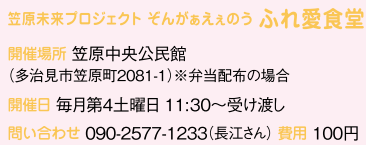
やこ&もこの家 福ちゃん食堂

開催場所 多治見市緑ヶ丘38 多治見修道院ログハウス
開催日 毎月第2土曜日 11:00～受け渡し
問い合わせ 070-2211-8944 (代)
費用 子ども無料、大人300円



多治見市小泉校区 ニコニコ食堂

開催場所 多治見市大原町7-86-1 老人憩いの家23区会館
開催日 毎月最終土曜日 12:00～受け渡し
問い合わせ 090-5119-1235 (田口さん)
費用 3歳以下無料、中学生以下100円、一般300円



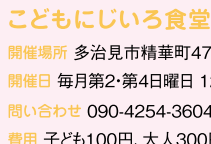
まごころ食堂実行委員会

開催場所 多治見市明和町3-3 (ハニー・ハウス内)
開催日 毎月第3土曜日 11:30～13:30
問い合わせ 0572-74-2160 (ハニー・ハウス)
費用 子ども50円、大人250円



子どもにじいろ食堂

開催場所 多治見市精華町47-2
開催日 毎月第2・第4日曜日 12:00～受け渡し
問い合わせ 090-4254-3604 (中島さん) ※18時以降
費用 子ども100円、大人300円



あべべ食堂

開催場所 多治見市本町2-49-7
開催予定日 毎月第1金曜日16:00～19:00
問い合わせ 080-6244-1188 (スパイスファクトリーあべべ)
費用 無料



多治見修道院を拠点に
ほっこり幸せな時間を共有
やこ&もこの家 福ちゃん食堂
会長 三浦眞理子さん

福ちゃん食堂で
ほっこりしませんか



子どもと大人の居場所や交
流の機会づくりを大切
にしています」と話す三浦さん。
第2土曜日に、多治見修道院の
ログハウスで食事の提供、弁
当や物資の配布を実施していま
す。ログハウス内では交流の一
つとしてぬり絵を展示。修道院
の敷地内にある畑を借り、農業
体験の機会も提供しています。
「来てくださる皆様と、ほっこ
りした時間を過ごせるのがうれ

しい。手づくりのご飯やお弁当
を『おいしい』と言いながら笑
顔で食べていただけたときには、
やりがいを感じます」と笑いま
す。



修道院のログハウス内には、
子どもたちの力作がたくさん
並んでいます



五目ご飯に使われているタケ
ノコは修道院の裏庭で収穫。
まさにとれたての味わいです

「地域に元気を！」。休耕田の
活用から始まった子ども食堂
笠原未来プロジェクト
ぞんがぁええのう ふれ愛食堂
事務局 長江三子さん

「おばさん!」と
まちで声をかけて
もらいました



れ愛食堂のきっかけは、
実は農業。休耕田を活用
し、丹精込めて育てた野菜を生
かして交流を深めようとスター
トしました。民生委員、児童委
員、栄養士、教員、元保育士な
ど、個性豊かなメンバー20人弱
が活躍しています。コロナ禍前
はみんなでワイワイ食事をしな
がら、夏休み、冬休みといった
長期休暇時には先生に勉強を見

てもらう機会もありました。
「将来的には、学校の近くで
活動できるようになればいいな
と思っています」と意欲を見せ
る長江さん。午前中は高齢者の
サロン、放課後には子どもたち
の遊び場、おやつに夕飯の提供
と、誰もが利用しやすい形を模
索します。「ぞんがぁええのう」
から、「どおらぁええのう」な
ふれあいの場になる日は、きっ
と遠くありません。



収穫した農産物を、グリーン
フェスタたじみに提供したこ
ともあります



旬の食材を使うだけでなく、
食物アレルギーに配慮してく
れるのが◎

地域の憩いの場であるカフェ
だからこそでできる地域貢献
まごころ食堂実行委員会
代表 海津健一さん

子どもたちと
仲良くなれた瞬間が
喜びです



3土曜日にまごころ食堂
を開催しているのは、明
和町のまごころカフェハニー・
ハウス。長年の夢だったカフェ
の開業にあたり、最初から子ど
も食堂の実施を想定していた海
津さんは、2019年の開店か
ら半年後にはまごころ食堂を、
さらに翌年4月にはフードバン
ク活動を始めました。新型コ
ロナの影響で、カフェの経営
自体厳しい状況ですが、コロ

ナ禍でも休まないことと、イー
トインにこだわってまごころ食
堂を継続しています。
「フードバンクの利用で、1
日の食事が1回から2回に増え
た家庭も。必要な家庭はぜひ連
絡ください」と呼びかける海津
さんは、さらなる地域貢献のた
め、高齢者が住みやすいまちづ
くりを検討中。地域の憩いの場
所は、これからも地域の課題に
真摯に向き合います。



食事の提供以外に、自習場所
の提供と勉強のサポートもし
ています



まごころ食堂のメニューはカ
レー。ハニー・ハウスでも大
人気です

おばあちゃん家のように
ホッとくつろげる居場所を
こどもにじいろ食堂
代表 中島芳枝さん

夕食時に
ボランティアできる方
募集中です



華小学校東側にある赤い
屋根の平屋が目印のこど
もにじいろ食堂。「自分の子ど
もが不登校になったとき、子ど
もには逃げ場がないと気づきま
した。以前は学童保育に使われ
ていたこの家と出会い、温かい
食事が待つ子どもの居場所にな
れたらと始めたんです」と中島
さんは笑みを浮かべます。
第2・第4日曜日、手づくり
の弁当と共に配布するのは、企

業や地域の有志が届けてくれた
米や野菜など。3月で開始から
1年を迎え、今後の目標は夕方
の学習支援と、夕食時に子ども
食堂を開くことです。「誰かに
頼るのは悪いことではありませ
ん。子どもの笑顔のために、親
さんの心がホッとできる時間を
大切にしてほしい」。中島さん
自身も子どもを育てる母として、
地域の子育て家庭に寄り添い続
けます。



学習支援として勉強を教えて
いるほか、バスTEL画教室も
行っています



優しい味の弁当には、「食べ
てホッとしてほしい」という
願いが込められています

2000食を振る舞うイベントを開催
子ども食堂のイメージを変える
あべべ食堂
代表 小島佑摩さん

インスタで最新情報
公開中です



021年6月にオープ
ンしたスパイスファクトリ
1あべべが営んでいます。10年
以上前、インドで長期ボラン
ティアをしていた小島さん。地元
に开店するにあたり、「人の役
に立つことをもっていきたく
い」という思いを実現しました。
取り組みの周知と理解の促進
のため、今年1月には、通常の
子ども食堂の6倍規模となる
2000食のカレーを無料で振

る舞うイベントを開催。「あべ
べ食堂の永続的な開催」を夢見
る小島さん。「1店舗では限界
があるので、僕自身がロールモ
デルとなり、子ども食堂の輪が
広がっていけばと思います」と
話し、支援の多様化に願いを込
めます。現在移転準備のため、
子ども食堂も中止していますが、
5月下旬のリニューアルオープ
ンに合わせて再開予定で、新店
舗での開催が待ち望まれます。



1月のイベントは多数のメデ
ィアで取り上げられ、活動が
広まるきっかけとなりました



時間内に来店した人全員へ無
料で配布するカレー。小島さ
んの心意気が伝わってきます